

# みんなで楽しくスポーツを

No. 267 2013年 2月



ぎふ清流国体 ハンドボール競技  
優勝 少年女子香川県【高松商業高校】



マイスポーツ発見プログラム  
H24.11.17 (丸亀市民体育館)

## 観るスポーツ！ するスポーツ！



第23回県民スポレク祭  
H24.10.28 (瀬戸大橋記念公園)



- スポーツのすすめ  
つじ整形外科クリニック 辻 伸太郎
- スポーツリーダーバンク登録指導者の声  
四宮英雄、鈴木日出子、木村敏彦
- わが町のスポーツ自慢  
三木町、多度津町
- かがわのスポーツ・インフォメーション

香川県教育委員会

# スポーツのすすめ

## 『スポーツ観戦のすすめ』



つじ整形外科クリニック

院長 辻 伸太郎

私は、いろんなスポーツを生で観戦する機会があり、去年は学生相撲とベンチプレス大会というふつうは、わざわざ見に行かないような大会も観戦しました。自分がしたことのないスポーツでもスポーツ観戦は楽しいです。私が香川で初めて観戦したプロスポーツは、20年以上前に高松国際ホテルスポーツパレスで行われたアイスホッケーの試合です。初めて見るアイスホッケーの試合は、熱い試合でした。私たちの方に飛んできたパックが頭上の壁時計を直撃したのを覚えています。

今年も、1月に男子バレーボール



のVプレミアリーグの試合が高松市総合体育館で開催され、私も観戦させていただきました。試合開始前のファンサービスで、ほかの選手がサインボールを観客席に勢いよく投げ込むなか、堺ブレイザーズのゴツツこと石島選手だけはコート近くの小さな子どもを探して、その子に手渡しでサインボールをあげていました。小さな子供が好きなだけかもしませんが、人気選手のゴツツからサインボールをもらえば、子供はゴツツが大好きになりバレーボールが好きになるに違いありません。おそらく、ゴツツは子供たちにバレーボールに興味を持ってもらいたいと考えているのだと思います。サインボールには、サインのほかに何かコメントが書いてあるように見えた。一流の選手のプレーを生で見る

ことはとても刺激的で、子供たちに夢や希望と勇気を与えたいと思います。

香川には野球、サッカー、バスケットボールのプロのリーグで戦うチームがあります。香川のスポーツを盛り上げるためにも、もっと観客が入ってほしいと思います。そのほかにも全国規模のレベルの高い大会が関係者の方々のご尽力により香川で行われています。先ほどのVプレミアリーグの試合もサントリールサンバースと堺ブレイザーズの試合はフルセットになる熱戦で、一流選手のスパイクの破壊力に圧倒される試合でした。昨年、丸亀競技場で行われたサッカーの皇后杯3回戦の試合も面白かったです。3回戦の中で最もいい組み合わせが香川で行われました。女王・INAC神戸と早稲田大学の対戦です。INAC神戸は、日本女子代表のMF澤穂希選手、FW川澄奈穂美選手、DF近賀ゆかり選手、FW大野忍選手など、そうそうたるメンバーが香川にやってきました。試合はINAC神戸が終始押し切りましたが、早稲田の堅い守備とたびたび見せるU-19日本代表の

瀬口七海選手のカウンター攻撃でINAC神戸を苦しめました。結果は1-0でINAC神戸が勝利しましたが、もしかしたら早稲田の大金屋も考えられる緊張感のある試合でした。この試合を見た子供たちは絶対サッカーをしようと思ったに違いありません。入場料も無料だったのでもっと多くの人に観戦していただきたいかっと思えます。

香川でも一流の選手のプレーを生で見る事ができる機会があります。県内ですごくいい試合をやっているのに観戦しないのはもったないです。是非、次に機会がありましたら観戦してみてください。特に子供たちには見せてあげてください。いい刺激になり青少年のスポーツ活動が盛んになると思います。また、自らがスポーツを「する」楽しみのほかに、この機会に、一流の素晴らしいスポーツを「観る」ことも楽しんでいただきたいと思います。



# スポーツリーダーバンク登録指導者の声

## チーム力



四国医療専門学校  
柔道整復学科  
高松市 四宮 英雄

響きの良い音が広がる卓球場で、私は日々仲間と一緒に卓球を楽しんでいる。現在は高松市に拠点を置く「横山クラブ」に所属しており、楽しく卓球をしながら、アドバイスしている。まもなくチームにお世話になって十数年になるが、チームの方針はいまだ変わらない。

「負けてもいいから、思い切りいけよ」この言葉どおりみんな卓球を楽しみながら、負けることを恐れずに試合に臨んでいる。現在、香川県社会人卓球リーグなどの試合に参加している。結果がいつも良いときばかりではないが、チームの雰囲気は変わることなく楽しみながら「勝つため」の練習に打ち込んでいる。

スポーツは勝つばかりではないが、ただ負けてもいいということではない。「楽しみながら勝つ」ことができれば、どんなに楽しい競技生

活を年代を問わず送れるだろうと思っている。仲間と切磋琢磨をしつつ気づいた点を教え合い、「チーム力」をみんなで押し上げていく。それが私の理想のチーム像である。

## 出会い、繋がり、超ハッピー!



総合型地域スポーツクラブ  
DISPORT・キラキラたち  
宇多津町 鈴木日出子

総合型クラブにクラブマネジャーとして携わって早くも5年目となりました。

キンボールスポーツから始まり、ミニテニスやスポーツ吹矢など、ニュースポーツを中心に活動しており、大会でも結果を出せるチームもできるようにになりました。

しかし、一方でクラブ員の確保は一番の課題です。転勤族の多い土地柄もあり、入会者があってもその分退会者も多く、クラブマネジャーとして最も頭を悩ませることです。クラブ員だけではなく、運営スタッフ不足もあります。スタッフのほとん

どは仕事をもっており、クラブの活動は夜に限定されることです。それは、クラブの「いつでも」が実行できない要因のひとつです。

また、反面ではクラブに携わった醍醐味があります。それは、人との出会い、繋がりです。年々広がりを見せ、私の人生の幅を広げていってくれます。

今後の目標は広報活動や昼間の活動など、今まであまり力を入れることができなかった事項に積極的に取り組んでいき、仲間作りを楽しみたい。これが、クラブの発展に、そして香川県内の総合型クラブの発展に繋がると信じています。

## インディアカとの出会い



香川県インディアカ協会  
審判部長  
高松市 木村 敏彦

私がインディアカを始めてからはや30年の月日が過ぎました。当初私の校区のチームは、市内でも後発のチームでしたが、珍しさと楽しみで

一生懸命に練習を重ね、数年後市内の大会でも優勝ができるチームになりました。

その後、1999年(平成11年)に私が選手として、また指導者としても尊敬している小岩文彦さん(現在香川県インディアカ協会理事長)から指導審判員の資格を取ってみないかと話があり、資格を取得し、県協会・市協会の理事としての活動が始まりました。

2003年(平成15年)には、当県で全国スポレク祭が開催され、私もスタッフの一員として参加し全国の方々と交流ができ、楽しい思い出ができました。また、日本インディアカ協会主催の講習会に参加することで、各県の指導者と交流を深め、多くのことを学び、インディアカを通じて、たくさんの方の友人もできました。

今後は、今まで私を育ててくださった諸先輩方の恩に報いるためにも後身の指導に励みたいと思っています。



# わが町のスポーツ自慢

## 三木町

### 『みき少女サッカースクール』

三木町では、スポーツ振興を通じた人づくり・町づくりに取り組んでいきます。

その一環として、平成24年7月から三木町総合運動公園で、サッカー活動を通じて少女の健康的な身体と心を養うとともに「サッカーの技術」やその基礎となる「運動能力」、状況を的確に判断する「考える力」などを備えた次代を担う少女サッカー選手を育成しようとして、小・中学生を対象とした「みき少女サッカースクール」を開始しました。

自治体直営で管理する施設主導のサッカースクールとしては、県下初の事業で、Jクラブ下部組織の元コーチなど、日本サッカー協会B級コーチの指導資格をもつ指導者のもと、小学生14名が在籍し、毎週土曜日の午前9時から2時間30分、天然芝のサッカー場で、練習に汗を流しています。

開校当初は、初めてボールを蹴る子ども達ばかりで、ドリブル、パスなどの基礎から始めました。子ども達は練

習を重ねるごとに上達し、試合を想定しての守備、攻撃を含むグループ戦術などの応用練習、ミニゲーム、12月には大会へ初出場したり、県内で行われた全国クラスの女子サッカー大会を見学したりすることにも取り組んでいきます。

スクール生は、「試合に出て攻めるところや得点を決めるドキドキ感が楽しい。」「ポジションの取り方を頑張りたい。」「笑顔で話してくれました。」

皆さん、三木のなでしこ達と一緒に「みき少女サッカースクール」に参加してみませんか。



連絡先 三木町総合運動公園

電話 087-899-1155

FAX 087-899-1155

## 多度津町

### 『親子で遊ぼう楽しい教室』

多度津町総合スポーツセンターでは、青少年育成教室として「親子で遊ぼう楽しい教室」を実施しております。この教室は、幼児と保護者が一緒に運動することで、親子の絆を深める交流の場を提供すること、また幼児に身体を動かす喜びを知ってもらう事業です。毎年3月末に募集し、4月から7月にかけて毎週土曜日約1時間程度全10回開催しています。講師の健康実践指導者が、幼児の心と体の発育を考えながら、鉄棒・ボール・なわとび・マット等を使ったプログラムを作成し、親子で楽しくスポーツに親しんでいただける内容となっております。



今年度は、17組20名の参加があり、楽しく体を動かすことができました。幼児達は最初、保護者からなかなか離れず、自分から進んで参加することができなかつたのですが、教室の半ば頃から自ら笑顔で身体を動かすようになり、毎回次の教室が待ち遠しいという声も聞こえてくるようになりました。一緒に参加している保護者の方からは、「子ども達がいろいろな面に自信が持てるようになった。」「自分のことは自分でできるようになった。」等、うれしい声が届いています。

また、町内に限らず町外からの参加もあり、新しい友達づくりや交流の場にもなっています。皆さんもお子さんと楽しく身体を動かしてみませんか。

連絡先 多度津町総合スポーツセンター

電話 0877-33-3666

FAX 0877-33-0620

# かがわのスポーツ・インフォメーション

## 平成24年度かがわ 生涯スポーツフォーラム 盛大に開催！

総合型地域スポーツクラブの普及を図るため「平成24年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が12月16日（日）サンメッセ香川で開催されました。

県内の総合型地域スポーツクラブ関係者をはじめスポーツ推進委員や一般の参加者約150名が集まり、交流の和が広がりました。

○オープニングでは、栗林スポーツクラブに若さあふれる新体操の演技を披露していただきました。



○講演では日本人女性として初めてK2（8611m／パキスタン）の登頂に成功した小松由佳さんに「山に生かされて」と題してお話をいた

だきました。

小松さんは秋田県出身で、東海大学では山岳部の主将を務め、卒業後の平成18年に23歳でエベレストに次いで世界で2番目に高い山であるK2に挑まれました。平均斜度が45度を越し、冷蔵庫大の岩が崩れ落ちる過酷な状況、登山した人の4人に1人は生きて帰ってこれないという世界最難関の山です。

自然の驚異を前にして、現在生きていることに対し感謝することの素晴らしさを写真や動画を交え語っていただきました。



○その後「真の『地域密着』とは」四国と東北のクラブが語り合う」と題し、岩手県北上市で先進的な取り組みを数多く行なっているNPO法人フォルダの司東道雄氏、徳島県勝浦町で地域貢献活動に熱心に取り

組まれているK Friendsの溝上由美氏の両名に香川県から屋島UROスポーツクラブの野崎武司氏が加わった座談会となりました。総合型地域クラブが県域を越え、互いに情報交換・連携を図るうえで、大変有意義な座談会となりました。



○教室体験では、NPO法人シーガルススポーツクラブの立本氏から「丹式呼吸法」を分かりやすく紹介していただきました。



## 第61回 全国青年大会 報告



第61回全国青年大会が、11月9日から12日までの4日間にわたり、東京武道館を主とした都内各会場で盛大に開催されました。

今大会には全国から2500名をこえる青年が参加し、競技と発表を通じて交流を深めました。香川県からもバレーボール男子、バレーボール女子、軟式野球、バドミントン、写真展に総勢60名の監督・選手たちが参加し、各種目で健闘しました。上位成績入賞は次のとおりです。

種目	成績	チーム名・所属市町名
バレーボール 女子	3位	三木クラブ・三木町



# かがわのスポーツ・インフォメーション

## 生涯スポーツ指導者養成講座

生涯スポーツの積極的な推進や高度化・多様化するニーズに対応できる指導者の養成を目的に、毎年開講している講座が終了しました。スポーツに関する理論と実践についての研修を修了した20名の方々に県教育委員会から修了証が授与されました。また、公益財団法人 日本体育協会の「スポーツ指導者資格である、「スポーツリーダー」に33名の方が認定されました。

生涯スポーツの積極的な推進や高度化・多様化するニーズに対応できる指導者の養成を目的に、毎年開講している講座が終了しました。スポーツに関する理論と実践についての研修を修了した20名の方々に県教育委員会から修了証が授与されました。また、公益財団法人 日本体育協会の「スポーツ指導者資格である、「スポーツリーダー」に33名の方が認定されました。

6	5	4	3	2	1	平成24年度内容
ジュニア期のスポーツ指導計画と安全管理 高松大学 田中 美季	トレーニング論Ⅰ 四国学院大学 漆原 光徳	指導者の役割Ⅰ 香川大学 米村 耕平	正しいテーピング法 和心堂鍼灸接骨院 横山 和昌	救急法 日赤香川県支部 石井 博喜	野外活動 県キャンブ協会 藤本 哲夫 西山 徹	ミニテニス 香南ししまるスポーツクラブ 太田 盛廣 健康体操 健康運動指導士 古市 敬子

修了おめでとうございます。

- 高松市 幡 則和  
武内 政義  
松下 利夫  
森末 宗子  
篠原ひとみ  
安藤 美幸  
石田 純子  
坂出市 豊嶋 光博  
三好 浩一  
普通寺市 太田 恵子  
さぬき市 遠藤 国男  
三豊市 石井 宏昭  
安藤 幹夫  
東かがわ市 山口 大輔  
三木町 溝口 勲  
綾川町 高木 知子  
(敬称略)
- 住友 良雄  
中野 健  
吉田 実  
山田健一郎



## 総合型地域スポーツクラブ マネジャー養成講習会

す。それぞれの地域やクラブにおいてご活躍されることを期待しております。

今年度の総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会が、12月9日(日)に閉講しました。この講習会は、総合型地域スポーツクラブの創設や運営において中心的役割を果たすクラブマネジャーと、それを補佐するアシスタントマネジャーの育成を目的とし、11月～12月にかけての3日間の日程で行われました。修了された22名の皆様、修了おめでとうございました。



### 今年度修了された皆様

- 高松市 森下 増美 西岡 幸代  
香川 敬典 廣瀬 基  
立本 悟 神原 健次  
板東 宏一 松村 南  
丸亀市 山田健一郎  
さぬき市 山口 大輔  
東かがわ市 吉田 空見 森 和之  
宇多津町 黒木 輝美 高家 健治  
まんのう町 菅坂 仁美  
高知県 菅岡 真 小松 麻美  
又川 美紀 三谷恵美子  
阿部 香織 野々下祐生  
愛媛県 佐々木吉寛

(敬称略)

3	2	1	平成24年度講義内容
クラブづくり方 しまもとバンブークラブ 顧問 松田 雅彦	実践事例(一般財団法人 どんぐり財団) 専務理事 関口 昌和	実践事例(香南ししまるスポーツクラブ) 事務局 会計 中名 信 理事長 齊藤 栄嗣	地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状 立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積 仁

## 「ぎふ清流国体」 香川県選手団の成績

ぎふ清流国体 入賞者一覧 (3位以上)

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属名
優勝	陸上競技	成年女子	ハンマー投	綾 真澄	丸善工業株式会社
	水泳(飛込)	少年男子	飛板飛込	池田 匠見	高松工芸高等学校
	レスリング	成年男子	グレコローマン スタイル66kg	音泉 秀幸	日本体育大学
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg級スナッチ	多田 佳弘	多度津高等学校
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg級クリーン &ジャーク	多田 佳弘	多度津高等学校
	ハンドボール	少年女子	-	香 川 県	高松商業高等学校
	馬術	少年	スピードアンド ハンディネス	大西 徹平	高松高等学校
	カヌー	少年男子	カヌースプリント・ カヤックシングル(500m)	明石 寛幸	坂出工業高等学校
	ゴルフ	少年男子	団体	石徳 俊樹 亀代 順哉 遠藤 健太	香川西高等学校 香川西高等学校 藤井学園寒川高等学校
2位	陸上競技	少年男子共通	棒高跳	石川 明斗	観音寺中央高等学校
	陸上競技	少年女子共通	棒高跳	竹安あかね	観音寺第一高等学校
	フェンシング	成年女子	エペ	川西 真紀 岡田 真季 山根 司	(株)サマテイルスクラブ 朝日大学 早稲田大学
	ライフル射撃	成年男子	10mエア・ピストル (60発、決勝10発)	堀水宏次郎	香川県警察
	ゴルフ	女子	個人	森田 遥	高松中央高等学校
3位	水泳(競泳)	少年男子B	50m自由形	河野 元斗	高松北高等学校
	ボクシング	成年男子	ライトウェルター級	中山 賢人	日本大学
	ウエイトリフティング	成年男子	69kg級スナッチ	大塚 一樹	香川丸亀養護学校
	馬術	少年	標準障害飛越	大西 徹平	高松高等学校
	カヌー	少年男子	カヌースプリント カヤックペア(200m)	新岡 浩陽 井上 暉央	坂出高等学校



第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」が9月29日(土)から10月9日(火)まで(水泳競技を除く)、岐阜県(一部愛知県)で開催されました。本県からは、34競技(公開競技を含む)に472名の選手団が参加し、22競技63種目で入賞を果たしました。その結果、冬季大会・本大会を通して、天皇杯得点883.0点、皇后杯得点486.5点を獲得し、天皇杯順位28位、皇后杯順位25位となりました。



ウエイトリフティング競技  
少年男子 多田 佳弘 (優勝)

## 子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム (運動遊び)

### タイミングジャンプ



(例)リズムと方向

1. 右に1回・左に1回
  2. 右に2回・左に1回
  3. 右に3回・左に1回
  4. 右に4回・左に1回
  5. 右に5回・左に1回
- など

#### ●効果

- ・リズムカルに動く力の向上
- ・タイミングをはかる力の向上

#### ●進め方

- ① チーム全員で輪になるように手をつなぎ、足もとのペットボトル(500ml)を踏まないように、タイミングよく両足ジャンプをします。
- ② リズムと方向を変えて、みんなそろってジャンプできたチームの勝ちです。

#### ●アレンジ・演出法

- ・たとえば(「あんたがたどこさ」の「さ」の部分で逆方向にジャンプするなど、歌に合わせてジャンプしても楽しめます。

#### 分析

#### 「タイミングジャンプ」

このプログラムは、5~6名のチーム全員で輪になるように手をつなぎ、リズムに合わせて両足ジャンプを行う形式の遊びです。協力して間違いないようにチーム全体が同一のリズムと方向でジャンプ(例:右に1回、左に1回、右に2回、左に2回、右に3回、左に3回など)をすることの心地よさを楽しむゲームです。ジャンプのリズムと方向のパターンを変えることで、さまざまなジャンプリズムの共有と共感、共感を楽しめる点に特徴があります。

HOT NEWS!!!

## 平成24年3月、「スポーツ基本計画」策定！！

今後10年間のスポーツ施策の基本方針となる計画

URL…[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/plan/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm) (『スポーツ基本計画』で検索)

### 概要

- 平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」第9条の規定に基づき、文科省により策定された。
- 計画期間は、平成24年度からの概ね10年間。そのうち、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策を体系化している。
- 平成22年8月に策定された「スポーツ立国戦略」の内容で引き続き有効なものについては、必要に応じて取り入れている。



### スポーツ基本法(全5章35条)

昭和36年に制定された「スポーツ振興法」を全面改訂。

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であるという、「スポーツ権」が盛り込まれている他、障がい者スポーツやドーピング防止に関しても定められているなど、内容は多岐にわたります。

### ■今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策■



政策課題	政策目標
①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	今後10年以内に子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるよう、今後5年間、体力の向上傾向が維持され、 <u>確実なものとなることを目標とする。</u>
②若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進	できるかぎり早期に、 <u>成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人(30%程度)となることを目標とする。</u> また、 <u>成人のスポーツ未実施者(1年間に一度もスポーツをしない者)の数がゼロに近づくことを目標とする。</u>
③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するため、 <u>総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ指導者・スポーツ施設の充実等を図る。</u>
④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備	オリンピック競技大会の金メダル獲得ランキングについては、 <u>夏季大会では5位以上、冬季大会では10位以上。</u> パラリンピック競技大会の金メダル獲得ランキングについては、 <u>直近の大会(夏季大会17位(2008/北京)、冬季大会8位(2010/バンクーバー))以上をそれぞれ目標とする。</u>
⑤オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等を通じた国際交流・貢献の推進	オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会等の国際競技大会等の積極的な招致や円滑な開催、国際的な情報の収集・発信、国際的な人的ネットワークの構築等を行う。
⑥ドーピング防止やスポーツ仲裁等の推進によるスポーツ界の透明性、公平・公正性の向上	ドーピング防止活動を推進するための環境を整備するとともに、スポーツ団体のガバナンスを強化し組織運営の透明化を図るほかスポーツ紛争の仲裁のための基礎環境の整備・定着を図る。
⑦スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進	トップスポーツの伸長とスポーツの裾野の拡大を促すスポーツ界における好循環の創出を目指し、 <u>トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働を推進する。</u>

## POINT !

「スポーツ基本計画」の中では、「新しい公共」「女性、若者、障がい者のスポーツ参加機会の拡充」という言葉が何度も登場します。これまであまりスポーツに触れる機会がなかった層への普及はもちろん、今後は『スポーツを通じて地域をどう元気にしていくか』といった公共的な考え方も求められるようになりつつあります。  
※「新しい公共」…公共サービスを、行政のみではなく地域住民自身やNPOが主体となって提供し、支え合いと活気がある社会をつくるという考え方。

